



平成16年度 特別展

# 町人の世界 — 金沢 —



【加賀藩年中行事図絵】金沢大学附属図書館蔵

金沢市立玉川図書館  
近世史料館

## はじめに

本展示は、藩政期に加賀藩の藩都として、加賀・能登・越中三方国の中心都市の位置にあった「城下町金沢」を支えた町人達にスポットを当て、町人社会と町の構造などを紹介しようとするものです。

城下町という空間は、武士を主人公とするものですが、この武士の支配・生活・文化等々を支え得たのは町人の存在があつてのことであり、都市という視点からは、町人が主人公であり、今に続く伝統工芸・伝統芸能の多くも町人達の生活の中で培われてきました。近世の金沢を理解する上で町人とその社会を見ることは欠くことのできないものとなります。

本展示が、町人と都市金沢の歴史に対する市民の関心を呼び起こすものとなれば幸いです。

展示品は館蔵の古文書類と、それらから作成したデータ類のパネルに加え、金沢の各機関・各家より出品していただいた資料からなります。

本展示を開催するにあたり、資料のご出品およびご協力をいただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。

平成十六年八月

金沢市立玉川図書館

近世史料館

## 資料提供・協力者一覧 (敬称略、順不同)

- 金沢大学附属図書館
- 石川県立美術館
- 石川県立歴史博物館
- 石川県立五兵衛記念館
- 前田育徳会尊経閣文庫
- 成翼閣
- 石浦神社
- 大乘寺
- 金沢市中山周比古
- 金沢市村松七九
- 金沢市中屋隆秀
- 金沢市民俗文化財展示館

## 97 諸国名所百景 加州金沢大乘寺

金沢市 村松七九氏蔵



100 金沢勝地賑双六 当館蔵



本書は、金沢市立玉川図書館近世史料館が開催する特別展「町人の世界―金沢―」のパンフレットとして作成したものです。

本文中の掲載資料の番号は出品目録(巻末)の番号を示しています。

会期中に展示替えを行うため、一部の資料は展示されていがないことがあります。

借用資料の資料名は原則として、所蔵先の名称に拠っています。

本書に掲載されている写真、記事等の転載については、資料所蔵者および当館の許可が必要です。

展示資料は町の景観、町役人・町役、町名・人口、町絵図、遺言・相続、年中行事、商売鑑札、広告・引札、奉公人、商人番付、諸道具・看板、災害、金沢名所、盆正月、芝居・遊郭の区分を設けました。

善哉此日吉祥錄

施主内成信力人

互約存亡神鎮護

山門水盛船双輪

文政七甲申九月始

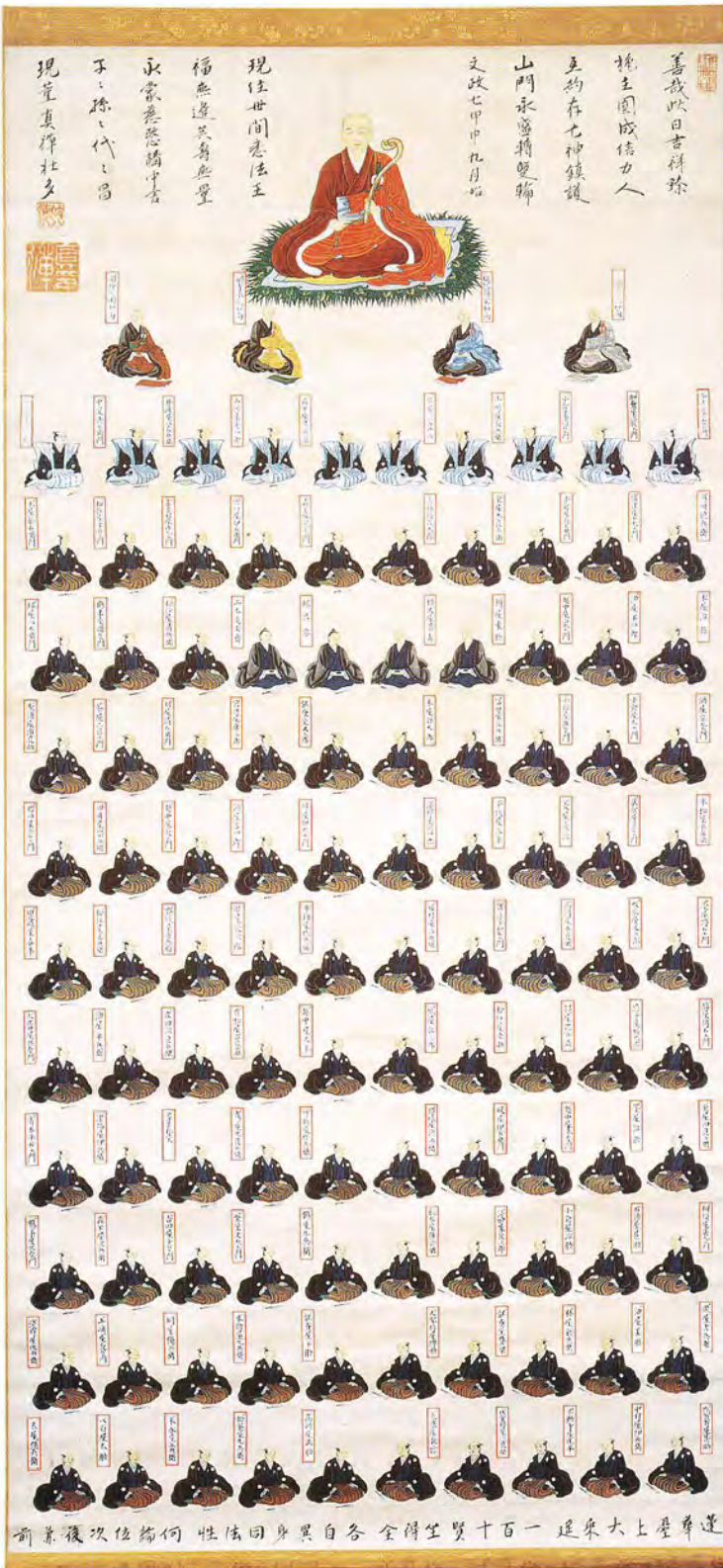
現住世間悉法王

福無迎矣壽無量

水蒙慈恩講中会

子々孫々代々昌

現董真禪壯多



開禪玄則和尚	中屋彦右衛門	木屋藤右衛門	榎屋八右衛門	金浦屋治良助	桜田屋孫右衛門	田之嶋屋壽平	太郎田屋与右衛門	青木平右衛門	鶴米屋久左衛門	浅野屋佐兵衛	衣屋弥兵衛
福寺本光和尚	井波屋八良兵衛	喜多村屋彦左衛門	松任屋清兵衛	茶屋六良衛門	田井屋宗兵衛	松任屋善兵衛	油屋平兵衛	津幡屋伊兵衛	森下屋次兵衛	山崎屋長右衛門	米求屋五兵衛
宮竹屋伊右衛門	山崎屋彦三郎	森下屋八左衛門	山本文玄齋	宮竹屋康二郎	酒屋多四郎	野代屋孫兵衛	庄田次良兵衛	多葉粉屋	吉田屋小右衛門	網屋弥兵衛	松釜屋九兵衛
森下屋甚兵衛	香林坊茂太郎	堀昌安	能登屋又五郎	浅野屋惣四郎	井村屋左兵衛	若村屋治兵衛	紙屋長三郎	野代屋徳兵衛	杉本屋弥三兵衛	大聖寺屋伝助	美濃屋長作
茶屋次良八	福久屋景寿	富田屋長兵衛	木屋孫太郎	千代屋久平	諸江屋和右衛門	松任屋幸助	越中屋久平	野代屋徳兵衛	浅田屋長次郎	能登屋権兵衛	佐賀野屋次良助
山崎屋長兵衛	金屋九良兵衛	榎屋東橋	富田屋長兵衛	高岡屋五良兵衛	鍋屋忠兵衛	越中屋喜左衛門	小倉屋治助	林屋新兵衛	不動寺屋庄平	中村屋伊兵衛	佐賀野屋良助
小倉屋清右衛門	富津屋七左衛門	油屋半四郎	小倉屋太衛門	敦賀屋甚右衛門	墨屋伝右衛門	墨屋伝右衛門	扇屋権太郎	釜屋四良兵衛	相模屋甚左衛門	石浦屋甚助	油屋善助
加登屋次良衛門	岩崎徳兵衛	木屋治助	酒屋宗左衛門	平松屋平兵衛	墨屋伝右衛門	釜屋四良兵衛	扇屋権太郎	釜屋四良兵衛	相模屋甚左衛門	石浦屋甚助	油屋善助
本吉屋宗右衛門	岩崎徳兵衛	木屋治助	酒屋宗左衛門	平松屋平兵衛	墨屋伝右衛門	釜屋四良兵衛	扇屋権太郎	釜屋四良兵衛	相模屋甚左衛門	石浦屋甚助	油屋善助

前兼後次位論何性法同身自各全得坐賢十百一蓮乘大上台華蓮

### 7 羅漢講員面影像 大乘寺藏

文政七年（二八二四）、大乘寺第五十世覚海真禪は第二世登山紹理和尚の五百年遠忌を執行し、同年九月に羅漢講を結成した。この羅漢講には、金沢の町人百九人が講員となつたとされ（館蔵翁等著「加賀大乘寺史」）、影像に讃偈を付して功德を讀されたものが本資料である。影像には百十人の講員が描かれ、金沢の家柄町人・町役人が多く含まれる。家にも粟ヶ崎の木屋藤右衛門の名なども見られ、当時の金沢町人を代表する人々が一堂に会している。阿羅漢影像として供養の対象となるものであるが、金沢町人百九人の画像と名が描かれ、町方資料としても貴重な史料である。



#### 4 浅野川四季風景図

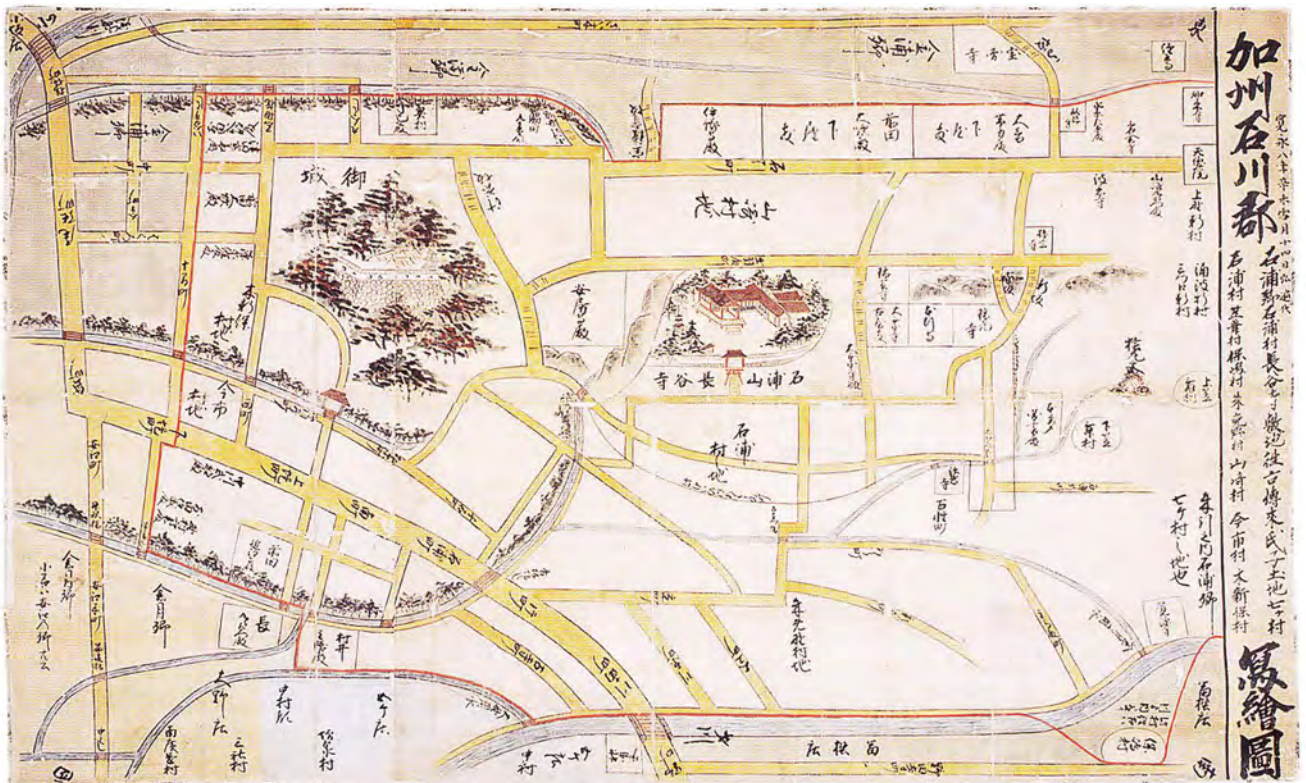
金沢市 村松七九氏蔵  
 (金沢市指定文化財)

金沢の藩政末期の風俗が描かれたもので、作者は加賀藩お抱絵師佐々木泉景(二七七三〜一八四八)。図中には浅野川の主流から下流にかけての風景と四季の風物が描かれ、上流は常盤橋から始まる春の風景で、浅野川大橋付近では夏の七夕祭りの様子が見える。次に馬場の練習風景が見えるが、紅葉した樹木から秋の風景である。末尾は小橋付近で冬の町家の風景を描写している。

#### 1 長谷寺寛永年間氏子地図

石浦神社蔵(金沢市指定文化財)

長谷寺(現石浦神社)の氏子七ヶ村(石浦村・笠舞村・保嶋村・朱免野村・山崎村・今市村・木新保村)を示した絵図で、作成は一八世紀前半とされるが、寛永八年(一六三〇)時の様子を示すものとされる。図中の氏子七ヶ村(郡地)は惣構堀際に位置しており、当時の城下範囲を示すものとなっている。これらの村地は順次移動させられ、氏子七ヶ村の地域は城下内に繰り込まれていく。城下町金沢の形成過程を物語る絵図である。

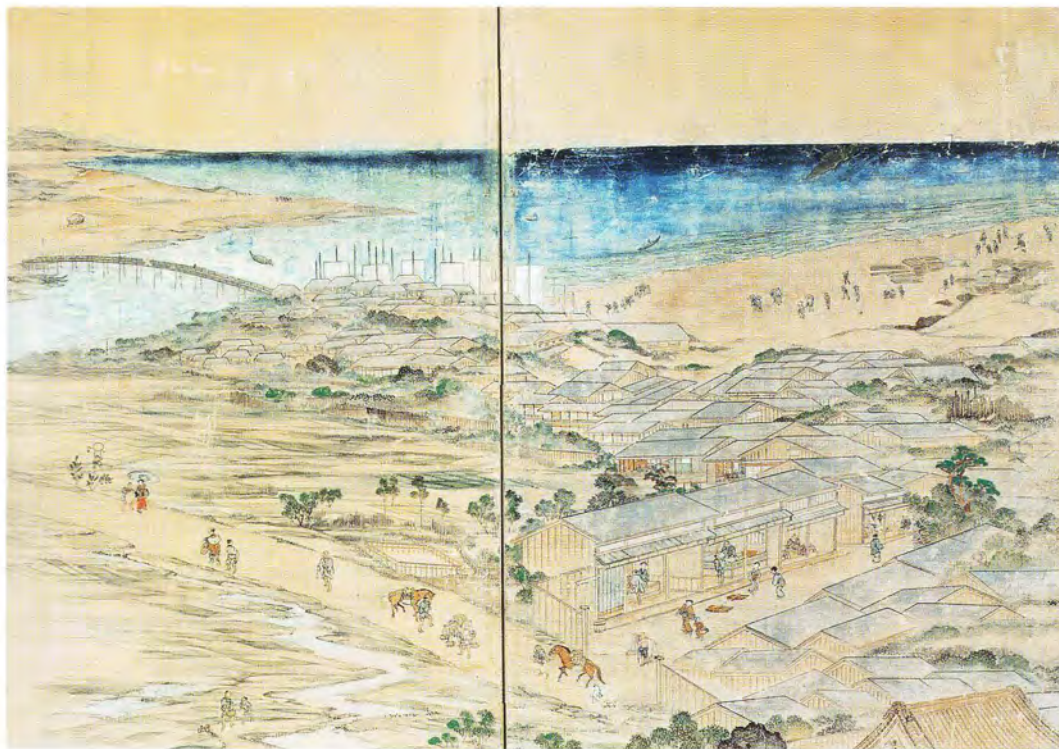




### 45 加賀藩年中行事図絵

金沢大学附属図書館蔵

本資料は四冊からなり、第一冊は八、第二・三・四冊は九カットからなっている。題名のとおり、四季折々の年中行事が描かれ、四冊の構成は春夏秋冬の区分となっている。作者の巖如春二八六八(一七四〇)は近代の人物であるが、藩政期の風俗に通暁した史家ともいえ、描かれた内容は考証に基づくものである。

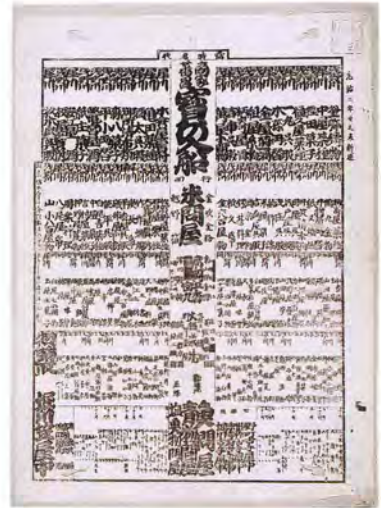


### 3 宮腰風俗図屏風

石川県銭屋五兵衛記念館蔵

宮腰町(現在の金沢市金石)の風景・風俗を描いた屏風である。作者・成立年代は不明であるが、湊町として繁栄していた藩政末期の宮腰町が色彩豊かに描かれている。

右隻には宮腰と金沢城下を真つ直ぐに結ぶ松並木の往還道と大野湊神社の森、日本海を遠望し、湯宿にくつろぐ町人たちの姿が克明に描かれ、左隻には湯宿(中島家)の庭園に、宮腰出身の関取(湊川四郎兵衛)、桜や楓を楽しむ男女が描かれ、遠くには海岸で漁をする人々や帆掛け船も見える。



75 金府諸商完繁昌 見多手

石川県立歴史博物館蔵  
番付は位付の性格を持つものが多いが、本資料は、職種毎に代表的商人が羅列的に、二・三七の商人名が掲載され、職種は四七種に及ぶ。

**番付**  
江戸後期になると金沢において、各種の番付類が出版されるようになる。これらは、従来の出版物が教養・教養など学問的なものが主流であったのに対し、庶民を対象としたものであり、出版が社会的に浸透し、金沢における出版文化の展開を促したのもとなったといえよう。これらは娯楽と共に各種の情報を伝えるものとなった。

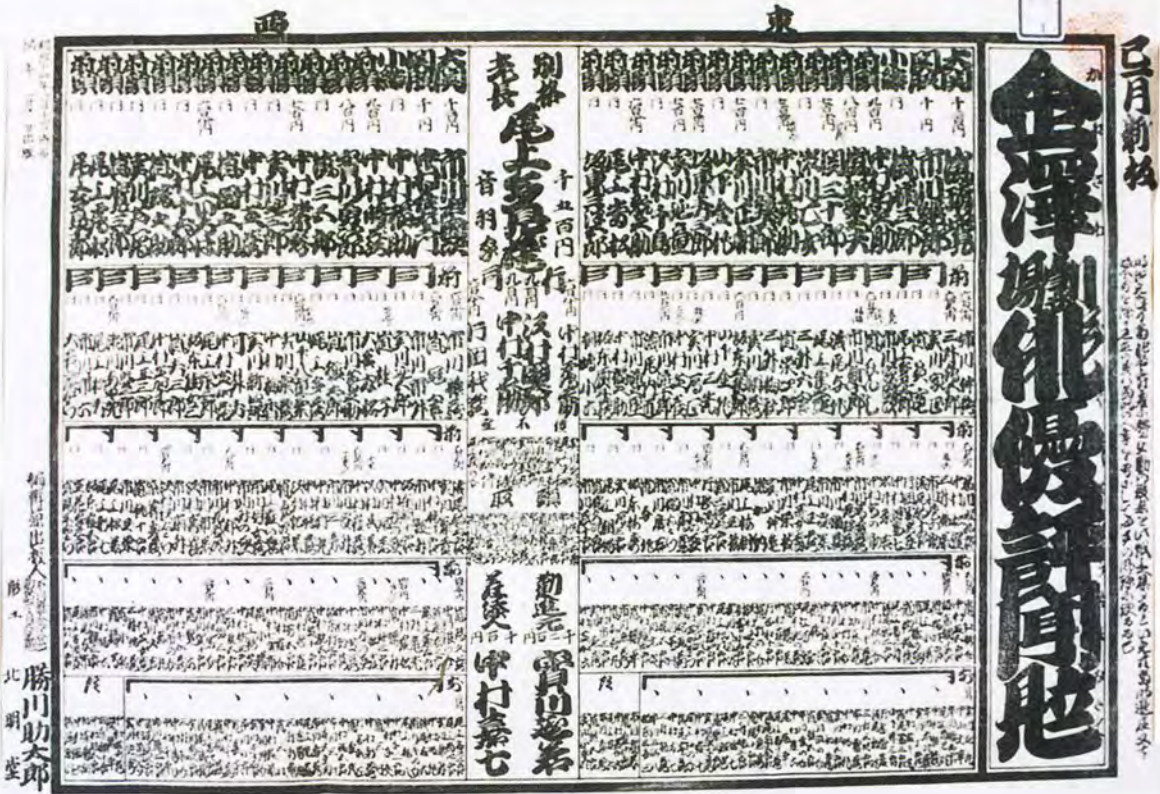
77 繁華の地 道のり案内

金沢市 村松七九氏蔵

江戸期の全国の繁華の地を番付にしたもので、それぞれ江戸からの距離が記されている。江戸・京都・大坂の三都は別格で番付に入っていない。「加賀金沢」は東の小結となっている。

44 金沢繁昌記 前田育徳会所蔵成興閣寄託  
正月七草の節句をはじめとして、年末の厄払いまで、金沢の年中行事の中で行われた民俗的な行事が絵と共に、作者春郊の幼少の頃の記憶をもとに作成されたものである。





57 尾張町中山太平引札

金沢市 中屋隆秀氏蔵



58 英町服部為三郎引札

金沢市 中屋隆秀氏蔵



54 新立町中泉善助引札

当館蔵



**引札**  
 商店の広告チラシである。江戸時代から存在するが、金沢における引札は大方が明治に入ってからのものである。引札の中には層が刷り込まれたものや絵画性に富んだものもあり、出版物としての興味も高い。

16 散算用聞役申付状

当館蔵

町年寄に次ぐ町方の役職で、町経済・行政等を担当した。  
本史料は武蔵規一郎を同役に任命するものである。

散算用 武蔵規一郎

本字 規一郎

右ノ通シテ

流

下ノ音ナ田末近

浪辺平八

山田 勲

19 町担当別肝煎一覧

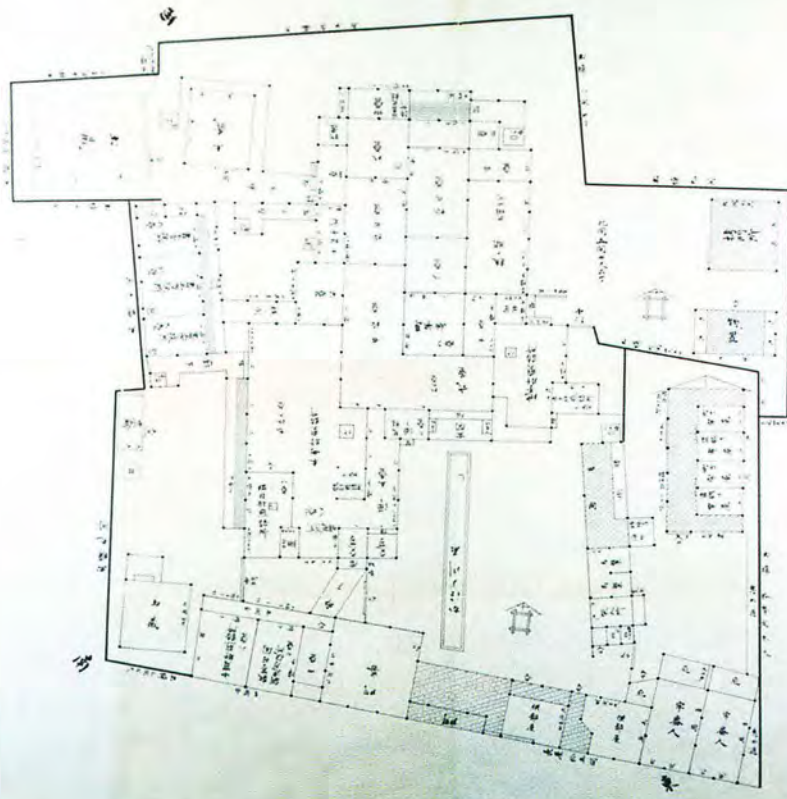
当館蔵

金沢町の町政機構は大きく肝煎―組合頭―十人組の構造となっていた。肝煎は一町会毎に存在するのはなく、数町が管轄単位となっており、各町を直接統括するのは組合頭であった。

8 金沢町会所総絵図

当館蔵

町会所は町方の行政・司法の執行機関であり、図中の各部に役職名が記され、それらの役職名から町会所機能の一端をうかがうことができる。



金沢町会所総絵図

金沢市立図書館蔵

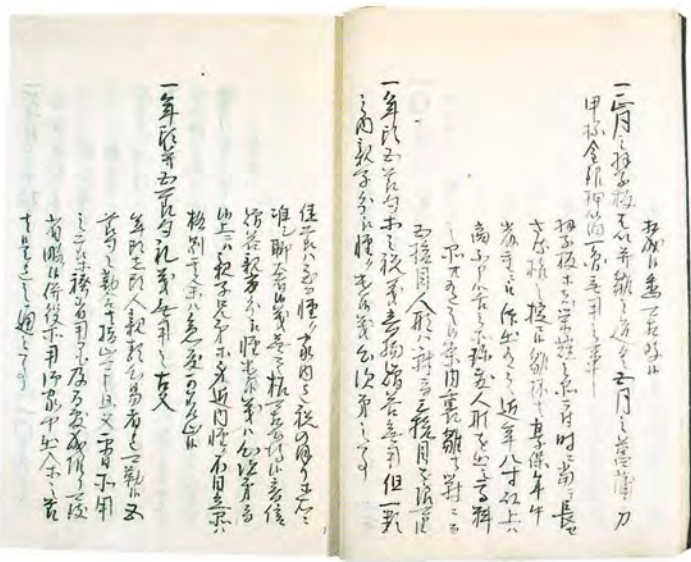
金沢市立図書館蔵





10 町中二日読御定十七ヶ条 当館蔵

金沢町民が守るべき規則・法例を毎月二日に読み聞かせたことに拠った名称で、町方二日読と村方二日読の法令集があった。



13 上堤町二番組二日読御定書箱 当館蔵



町人の相続書類

金沢の町には隣保組織的な十人組の制度があり、およそ十軒を単位として組織されていた。町人の「遺言書」は、この組織の中で公文書等を管理する箱番役のもとに置かれた御用箱に、十人組の構成員の確認のもと入れておかれる。遺言書は、遺言主の死亡により開封されるのであるが、立ち会うことの出来る家族・親族を記した「二類附」（一家附・親類附）も作成投函されている。開封に際しては、「二類附」に記されていた人々が遺言書に従う旨を記した「遺言状前証文」が作成され、開封されて相続者が確認されると、「遺言状後証文」という確認書が作成され、一連の手続きを完了する。これら一連の手続きは、十人組の確認・了承のもとに行われ、一個人の相続も連帯して行われた。相続者は、先の書類と共に、自らも遺言書を作成し、組合の御用箱に再び納めた。

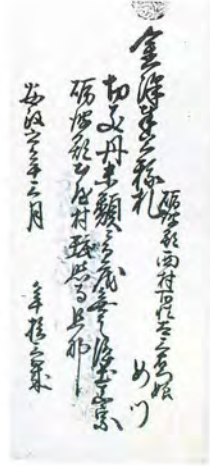
34 三社町中村屋理兵衛遺言状 当館蔵



39 高道新町組合御用箱 当館蔵



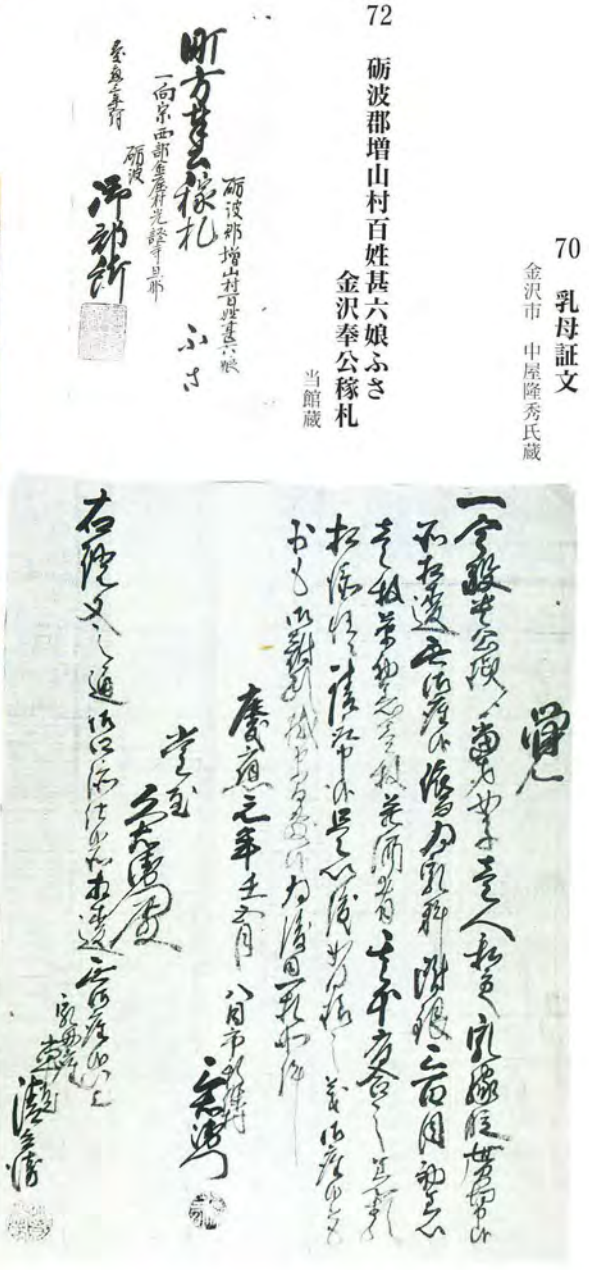
69 金沢奉公稼札 当館蔵



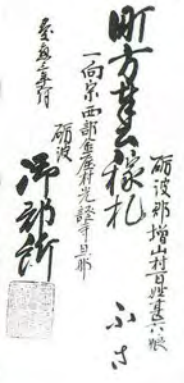
46 尾張町黒梅屋平四郎焚炭商売札 当館蔵



70 乳母証文 金沢市 中屋隆秀氏蔵



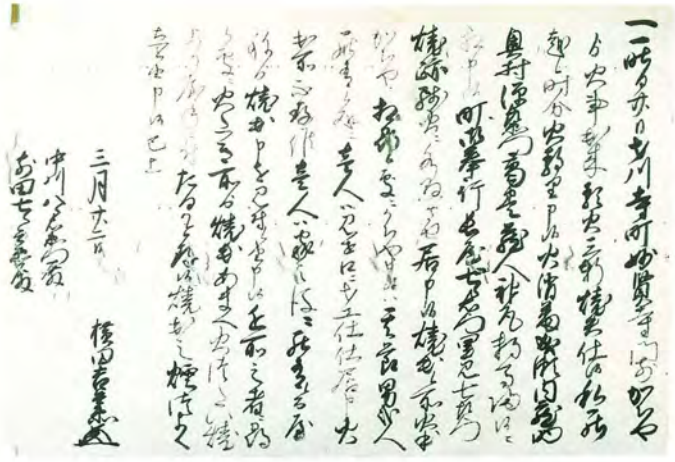
72 砺波郡増山村百姓甚六娘ふさ 金沢奉公稼札 当館蔵



47 観音町能登屋太平衛小間物散株札 当館蔵

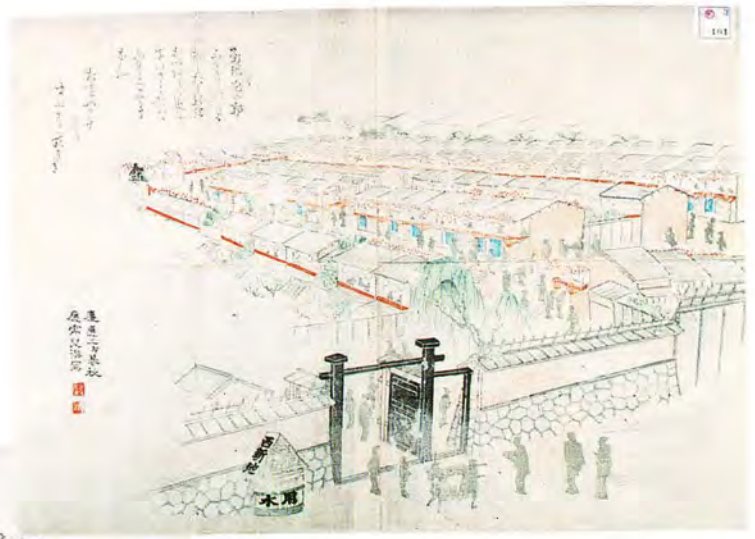


95 才川町火事届書 当館蔵

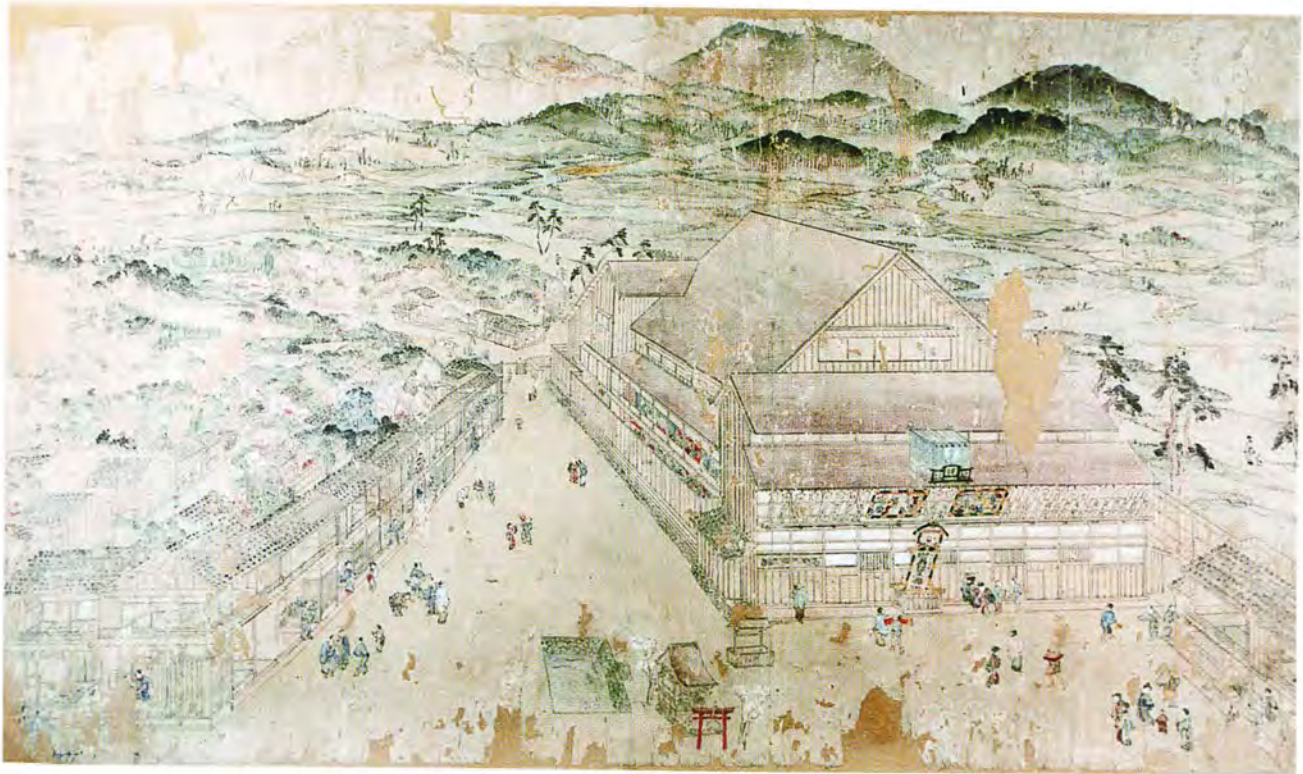




90 蓮昌寺焼之図 当館蔵  
 金沢においては、藩政期より度々大火にみまわれ、城・城下共に被災している。本図は浅野川左岸の町家から出火し、午前一時頃、蓮昌寺門前の町家から出火し、同日午後四時頃に鎮火したが、南は浅野川大橋際、北は山ノ上町、西は大衆免町にまで延焼し、卯辰山寺院群の大方が被災した。図中「朱」で示した所が罹災部分である。



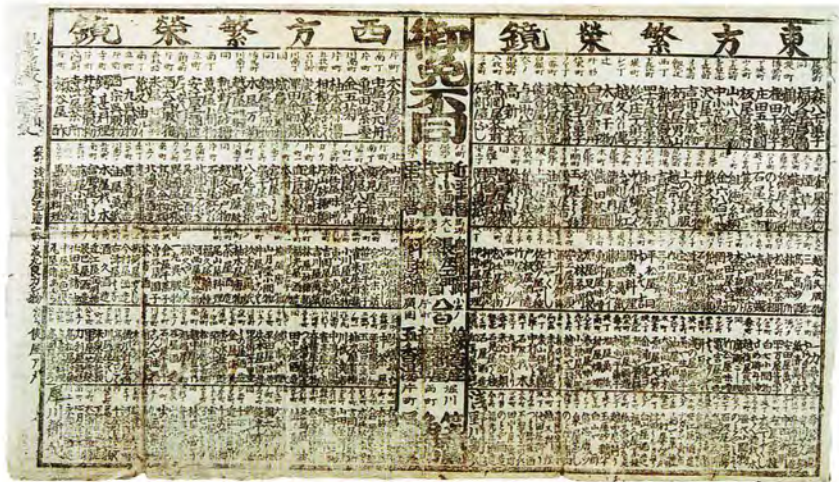
109 108 西新地絵図 当館蔵  
 東新地絵図 当館蔵  
 金沢における遊郭は東(卯辰)、西(石坂)の二か所に文政三年(八二〇)公許設置されたが、天保二年(八三二)廃止されるところとなり、慶応三年(一八六七)には再び公許され、東新地・西新地と称された。両画とも大門を前面に町の様子や人々の群参の様子が描かれている。



110 犀川川上芝居小屋景観図

当館蔵

犀川川上芝居は、文政二年（一八一九）川上新町に設置され、前口一三間、奥行三一間半の大規模な小屋であった。天保九年（一八三八）に至り芝居興行は停止され、小屋の木材は東本願寺末寺に寄進された。



76 東西繁栄鏡

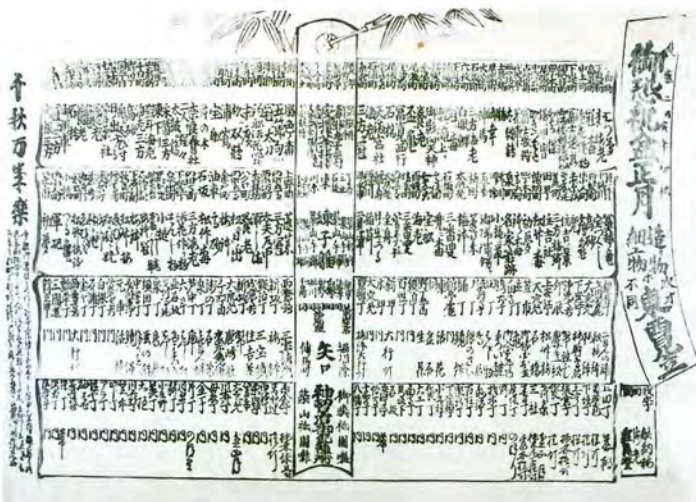
金沢市民俗文化財展示館蔵

題名のごとく、金沢の商家を東西に分け、町名・屋号・職種を配したもので、各商家の記載位置や文字の大きさの相違から、相撲番付同様に商家のランク付がなされている。

103 盆正月作り物細工物東西見立番付

当館蔵

藩主家の吉事にちなんで行われた。各町は各種の催しや出し物を競い、金沢町の総祭ともいうべきものとなっていた。起源は五代綱紀の隠居と六代吉徳の家督相続を祝した時に求められる。



# 出品目録

番号	資料名	年代	形態・方量(cm)等	員数	所蔵者
<b>&lt;町の景観&gt;</b>					
1	長谷寺寛永年間氏子地図(金沢市指定文化財)	寛永8年(1631)	軸装 彩色 109.4×179.0	1	石浦神社
2	延宝年間金沢城下図	大正2年(1913)	軸装 彩色 190×167 氏家栄太郎写	1	当館蔵 090-598
3	宮腰風俗図屏風	安政～文久年間	屏風 彩色 138×366.5	1双	石川県銭屋五兵衛記念館
4	浅野川四季風景図(金沢市指定文化財)		卷子 彩色 33×788.5 伝々々木泉景画	1	金沢市 村松七九
5	卯辰山之図		彩色 34×64	1	当館蔵 19.9-181
6	浅野川大橋之図		①24×34 ②34×65	2	当館蔵 18.6-67- 1・2
<b>&lt;町役人・町役&gt;</b>					
7	羅漢講員画像	文政～天保年間	軸装 彩色 221×82.7	1	大乘寺
8	金沢町会所総絵図	文化8年(1811)	彩色 56×80	1	当館蔵 090-658
9	町規案文帳	文政2年(1819)	袋綴 堂屋久右衛門編	1	金沢市 中屋隆秀
10	町中二日読御定十七ヶ条	享和3年(1803) 天保13年(1842)写	袋綴 武藤屋某写	1	当館蔵 090-93
11	町役人帳	天明5年(1785)	横帳	1	当館蔵 090-646
12	町年寄歴名并勤方帳	慶安4年(1651)他	袋綴	1	当館蔵 16.62-59
13	上堤町二番組二日読御定書箱	安政4年(1857)	木箱	1	当館蔵 090-1009-42
14	家柄町人由緒略書并家列	安政7年(1860)	袋綴	1	当館蔵 16.62-110
15	町人由緒帳	文久元年(1861)他	袋綴	3	当館蔵 16.62-109
16	散算用開役申付状	嘉永5年(1852)	切紙	1	当館蔵 090-590- 5
17	御国産菅笠棟取兼帯申付状	慶応2年(1866)	切紙	1	当館蔵 090-590- 7
18	救方主付申付状	慶応3年(1867)	切紙	1	当館蔵 090-590- 8
19	町担当別肝煎一覧		13.5×15	1	当館蔵 090-645
20	本町地子町地子銀町役定		袋綴	1	当館蔵 16.62-66
21	加越能三州小物成調理	明治3年(1870)	袋綴	1	当館蔵 16.62-63
<b>&lt;町名・人口&gt;</b>					
22	金沢町数人口調	天保9年(1838)	切紙	1	当館蔵 16.66- 3
23	温故集録	寛文7年(1667)他	袋綴	1	当館蔵 16.28-71-18
24	金沢町惣家数等	明治2年(1869)		1	当館蔵 16.66- 4
25	金沢町名尽	天保12年(1841)	袋綴	1	当館蔵 091.0-364
26	加賀国金沢町名尽	(明治)	小本 木版	1	当館蔵 090-288
27	御府内町名尽		小本 木版	1	当館蔵 090-574
28	金沢市街名寄	明治19年(1886)	袋綴 高橋富兄編	1	当館蔵 096.0-241
29	金沢方角之図		36×35	1	当館蔵 16.60-50
<b>&lt;町絵図&gt;</b>					
30	金沢町絵図尾張町・橋場町・下博労町絵図	文化8年(1811)	彩色 80×116	1	当館蔵 090-1034-24
31	大工町古図	文化13年(1816)	彩色 106×65	1	当館蔵 090-538
32	町統御郡地御引請ヶ所家建等假絵図	文政4年(1821)	彩色 120×56	1	当館蔵 090-1034-52
33	川南町間数并店借同居出店商売覚帳	天保3年(1832)	横帳 巖如春写	1	当館蔵 090-1034-68
<b>&lt;遺言・相続&gt;</b>					
34	三社町中村屋理兵衛遺言状	天保12年(1841)	切紙	1	当館蔵 090-720- 7- 1
35	故中村屋理兵衛一類附	安政4年(1857)	一紙	1	当館蔵 090-720- 7- 2
36	故中村屋理兵衛遺言状前証文	安政4年(1857)	一紙	1	当館蔵 090-720- 7- 3
37	故中村屋理兵衛遺言状後証文	安政4年(1857)	続紙	1	当館蔵 090-720- 7- 4
38	故中村屋理兵衛譲請状	安政4年(1857)	続紙	1	当館蔵 090-720- 7- 5
39	高道新町組合御用箱		木箱	1	当館蔵 090-716
<b>&lt;年中行事&gt;</b>					
40	六用集	正徳5年(1715)	横帳 三ヶ屋五郎兵衛刊	1	当館蔵 090-132
41	寛政三年伊勢暦	寛政2年(1790)	折本 木版 富田大弐編	1	当館蔵 499.8- 4- 1
42	文久三年月頭	文久2年(1862)他	木版 豎町津幡屋義助他版	1	当館蔵 499.8- 5
43	昔の十二ヶ月		横帳	1	当館蔵 16.86-35
44	金沢繁昌記		折帖 春郊作	1	前田有徳会所蔵成巽閣寄託
45	加賀藩年中行事図絵	昭和初期作製	折本彩色 24.3×17.8 巖如春画	4	金沢大学附属図書館

番号	資料名	年代	形態・方量(cm)等	員数	所蔵者
<b>&lt;商売鑑札&gt;</b>					
46	尾張町黒梅屋平四郎炭商売札	文政2年(1819)	木札 11×8	1	当館蔵 090-1017- 1
47	観音町能登屋太平衛小間物散株札	天保8年(1837)	木札 10×6.5	1	当館蔵 090-1017- 2
48	中町筆師平四郎御門札見合印鑑札	明治2年(1869)	木札 12×10	1	当館蔵 090-1017- 3
49	中町筆師平四郎御門札見合印鑑札	明治2年(1869)	木札 12×10	1	当館蔵 090-1017- 4
50	中町黒梅屋平四郎墨筆硯商売札	明治3年(1870)	木札 21×9		当館蔵 090-1017- 5
51	新町白金屋嘉三郎白銀職鑑札	明治3年(1870)	木札 21.5×9	1	当館蔵 090-1043- 2- 2
52	米沢清右衛門宿屋鑑札	(明治)	木札 30.5×9	1	当館蔵 090-1043- 1- 6
<b>&lt;広告・引札&gt;</b>					
53	石浦町御宿西村久勝引札	明治16年(1883)	彩色 37×25.5	1	当館蔵 K6-285- 4
54	新立町中泉善助引札	明治28年(1895)	彩色 38×26	1	当館蔵 大370
55	新竪町牧兵太郎引札	明治37年(1904)	彩色 26×37	1	当館蔵 大370
56	富本町堀江久太郎引札	明治39年(1906)	彩色 26×37	1	当館蔵 大370
57	尾張町中山太平引札	(明治)	彩色 17.5×23.5	1	金沢市 中屋隆秀
58	英町服部為三郎引札	(明治)	彩色 18×24.5	1	金沢市 中屋隆秀
59	折違町三清楼引札	(明治)	38×53	1	金沢市民俗文化財展示館
60	仁随寺前通り梅田安雄引札	(明治)	25.5×37.5、26.5×37.5	2	金沢市民俗文化財展示館
61	笠市町守岡商店引札	(明治)	35.5×50.5	1	金沢市民俗文化財展示館
62	鍛冶町河井與平引札	(明治)	28×40.5	1	金沢市民俗文化財展示館
63	青草町荒木與平引札	(明治)	26.5×38	1	金沢市民俗文化財展示館
64	大工町辰村米吉引札	(明治)	27×38	1	金沢市民俗文化財展示館
65	下金石港大野組引札	(明治)	38.5×26.5	1	金沢市民俗文化財展示館
66	安江町能久商店引札	(明治)	24.5×34.5	1	金沢市民俗文化財展示館
67	鍛冶片原町進宅弥三郎引札	(明治)	26×37.5	1	金沢市民俗文化財展示館
<b>&lt;奉公人&gt;</b>					
68	奉公人取持人共へ申渡方之覚	文政11年(1828)	一卷	1	当館蔵 090-742
69	金沢奉公稼札	安政6年(1859)	切紙	1	当館蔵 090-1025- 4- 4
70	乳母証文	慶応元年(1865)	切紙	1	金沢市中屋隆秀
71	砺波郡福光村頭振荒木辰七助娘でい金沢町方奉公稼札	慶応2年(1866)	切紙	1	当館蔵 090-1025- 4- 8
72	砺波郡増山村百姓甚六娘ふき金沢奉公稼札	慶応3年(1867)	切紙	1	当館蔵 090-1025- 4- 9
<b>&lt;商人番付&gt;</b>					
73	三都古今取組商人玉集	天保9年(1838)	木版 32.4×47 福德屋亀鶴刊	1	石川県立歴史博物館
74	商家蕃昌宝の入船	元治2年(1865)	木版 44.2×32.4	1	石川県立歴史博物館
75	金府諸商売繁昌見多手	江戸末期	木版 39.5×50.8	1	石川県立歴史博物館
76	東西繁栄鏡		木版 44×73	1	金沢市民俗文化財展示館
77	繁華の地 道のり案内		木版 42×33	1	金沢市 村松七九
78	加越能古人高名一覽	明治27年(1894)	木版 51.5×38	1	当館蔵 21.2-76
<b>&lt;諸道具・看板&gt;</b>					
79	金沢藩銀札・銭札	嘉永6年(1853)~明治3年(1870)	銀札・銭札	19	金沢市 中屋隆秀
80	煙草盆		21×46.5×11.5	1	金沢市民俗文化財展示館
81	煙草入		22×3	1	金沢市民俗文化財展示館
82	衝立		104×65	1	金沢市民俗文化財展示館
83	置行灯		28.5×28.5×73	1	金沢市民俗文化財展示館
84	帳箱		32×46.5×23	1	金沢市民俗文化財展示館
85	帳場机		28.5×58×24.5	1	金沢市民俗文化財展示館
86	帳場格子		47×121	1	金沢市民俗文化財展示館
87	看板「産前産後五香湯」		111.5×37	1	金沢市民俗文化財展示館
88	看板「両替」		58.5×45.5	1	金沢市民俗文化財展示館
89	薬研		13×31×97、長さ34.5	1組	金沢市民俗文化財展示館
<b>&lt;災害&gt;</b>					
90	蓮昌寺焼之図	享保21年(1736)	彩色 46×57 有沢森右衛門作	1	当館蔵 16.67- 9
91	宝暦加州火事之記	宝暦9年(1759)	長帳	1	当館蔵 16.67-10
92	加陽金府大火之節聞書	宝暦9年(1759)	袋綴	1	当館蔵 090-224
93	天保六年横安江町出火地図	昭和11年(1936)記	彩色 36×48	1	当館蔵 090-739

番号	資料名	年代	形態・方量(cm)等	員数	所蔵者
94	近江町火災絵図并火災類焼人申上書	安政6年(1859)	一紙彩色 47.5×58	2	当館蔵 16.67-13-18・22
95	才川町火事届書		一紙	1	当館蔵 16.67-14
96	金城風相分野之図		38×39	1	当館蔵 16.60-49
<b>&lt;金沢名所&gt;</b>					
97	諸国名所百景 加州金沢大乘寺		木版彩色 35.8×25 広重画	1	金沢市 村松七九
98	金沢名所	明治32年(1889)	軸装 木版彩色 39.5×55 紺藤次三郎画	1	当館蔵 090-583
99	金沢名所寿語録	明治34年(1901)	銅板 55×77 前田式部画	1	当館蔵 K7-349
100	金沢勝地賑双六		軸装 木版彩色 36×49	1	当館蔵 K7-137
<b>&lt;盆正月&gt;</b>					
101	盆正月作り物見立位付	文政13年(1830)	木版 35×51	1	当館蔵 090-112
102	盆正月作り物等一覽記	文政13年(1830)	横帳	1	当館蔵 K3-178
103	盆正月作り物細工物東西見立番付	慶応2年(1866)	木版 34.5×49	1	当館蔵 K3-1689
104	盆正月番付	慶応2年(1866)	木版 33.5×46	2	当館蔵 090-1057- 1
105	盆正月道案内	(慶応2年)	木版 32×44	1	当館蔵 090-1057- 2
106	造り物道具付		木版 51×35	1	当館蔵 090-743
<b>&lt;芝居・遊郭&gt;</b>					
107	芝居番付	万延・文久年間	折本 木版	1	当館蔵 21.7-123
108	西新地絵図	慶応3年(1867)	木版彩色 38×51	1	当館蔵 K3-101
109	東新地絵図		木版彩色 38×50 庫敬筆 近広堂刊	1	当館蔵 K3-102
110	犀川川上芝居小屋景観図		彩色 58×123	1	当館蔵 090-1025- 2-11
111	川上芝居劇場図		折本 彩色	1	当館蔵 21.7-122
112	浅川茶屋町前当武図		彩色 33×94	1	当館蔵 大2886
113	金沢俳優評聞見立		木版 35×50.5	1	金沢市 中山周比古
114	当梅鉢金城奇談	明治26年(1893)	書冊 表紙木版彩色	1	当館蔵 K7-165
115	俳優芸評		小本 木版彩色	1	当館蔵 K7-370
116	たのしみ草紙		小本 木版彩色	1	金沢市 中山周比古
117	菊くらべ		小本 木版彩色	1	当館蔵 21.3-77

・各項の配列は編年体を基本としていますが、資料の関連から順不同の場合もあります。  
 ・掲載資料は展示替えなどにより、期間的に展示されていない時期もあります。



87 看板「産前産後五香湯」  
 五香湯は産前・産後の薬湯で、これを製していた広岡屋の看板である。  
 金沢市民俗文化財展示館蔵

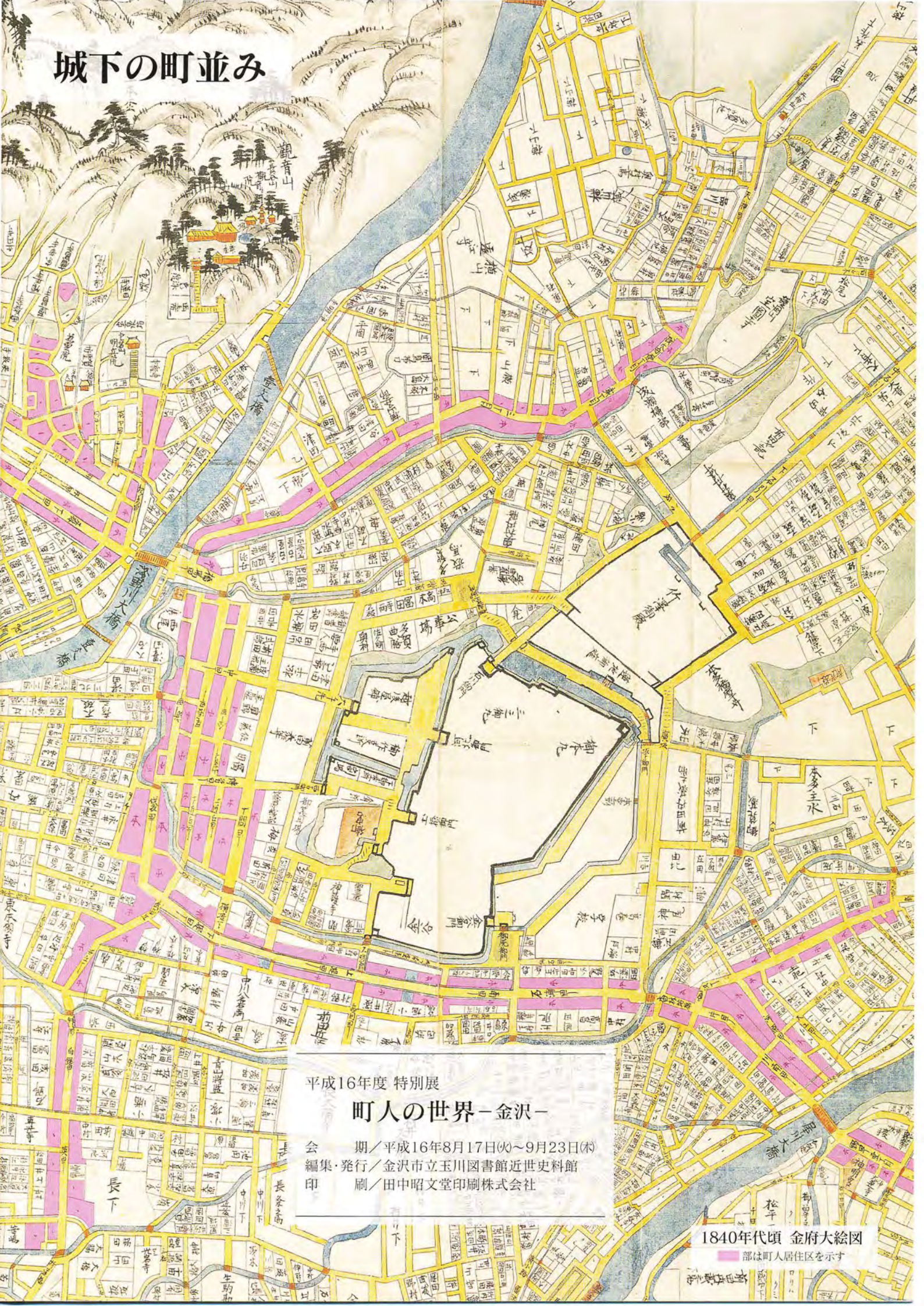


五両升 当館蔵



79 加賀藩銀札・銭札  
 金沢市 中屋隆秀氏蔵

# 城下の町並み



平成16年度 特別展

## 町人の世界-金沢-

会 期 / 平成16年8月17日(火)~9月23日(木)

編集・発行 / 金沢市立玉川図書館近世史料館

印刷 / 田中昭文堂印刷株式会社

1840年代頃 金府大絵図

■ 部は町人居住区を示す